

令和7年度 学校評価アンケート(職員)
(前年度比較)

◎: Aが70%以上且つA+Bが90%以上
○: A+Bが90%以上
×: A+Bが70%未満

	評価	前 年 比	A+B(%)	
			本 年	前 年
1) 日々の学校生活における事故を未然に防止するために、ヒヤリハット事例等を生かすことができ	○		100	97
2) 緊急対応等のマニュアルを理解し、不測の事態に備えることができた。	○		99	100
3) メールやUSB等の情報管理を適切に行うことができた。	◎		100	99
4) PDCAサイクルを踏まえながら、一人一人の児童生徒が持てる力を十分に発揮し、その力を更に伸ばす授業を行うことができた。	○	↗	96	88
5) 指導に必要な専門的知識や技術を持ち、適切な指導ができるよう努力した。	○		97	96
6) 児童生徒の自立や社会参加に向けた取組を、保護者や関係機関と連携して進めることができた	○	↗	96	91
7) 児童生徒の指導目標や指導計画について、保護者に十分に説明をすることができた。	○	↗	95	88
8) 気候や児童生徒の体調に配慮した教育活動ができた。	◎	↗	99	94
9) 児童生徒の気持ちを汲み取りながら接するとともに、自己選択・自己決定の場をできる限り設けることができた。	○	↗	99	94
10) 周囲の人や友達によさを感じ取り、自分のよさに気付く活動内容や場を設定することができた。	○	↗	97	90
11) 児童生徒が安心して充実した学校生活を送るために、いじめや体罰のない環境をつくることができた。	◎		100	96
12) 働き方改革の目的を理解し、時間外勤務縮減を意識して行動することができた。	○	↗	93	85
13) 学校は、地域住民等に対して広く情報提供をする取組ができた。	○	↗	90	85
14) 児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、環境整備に気を配ることができた。	○		99	100
15) 経費節減を心掛け、教育上必要な費用について、適切に運用することができた。	○		97	96
16) 学部等及び分掌部で、重点目標達成のために役割を果たすことができた。	○		100	99
17) 外部からの教育相談や外部の方を交えたケース会議等において、情報提供や助言等を丁寧に行うことができた。		↗	89	84

↗: A+Bの前年度比5%以上アップ
↘: A+Bの前年度比5%以上ダウン

